

一般質問

ここが

今回質問した項目

- ・水田の減反について
- ・市に係る道路について
- ・観光振興について



緑松会 古川津好議員

聞きたい

水田の減反対策

早めの情報提供で農家の協力求める

古川議員 市が生産調整に直接かかわらなくなつたためか、水稻作付けの割当面積超過が懸念されている。

市長 ことしから農業者と農業団体が主体的に生産調整に取り組むことになり、強制感が薄まつた事は否めないと認識している。生産調整が未達成だと市全体への産地づくり交付金が減額される恐れがあるので、加工用米で対応している。今後は、JAなどへの早めの情報提供をし、農家には来年度の作付けへの理解と協力をいたくよう取り組む。

古川議員 市から盛岡までの国道の整備状況はどうか。

市長 国道4号の「分れ」から盛岡までの片側2車線化は、本年度は調査設計を実施すること。一本木バイパスは用地交渉の難航や県予算が厳しい状況から、完成時期は予算に大きく左右されるものと思っている。

市道中田線の改良をどのように進めるか

古川議員 先に請願もあつた市道中田線を、今後どのように整備していくか。

市長 市の総合計画に盛り込まれた重要な路線である。今後の「まちづくり」の基幹道路となるものであり、負担の少ない制度で実施に鋭意努力したい。

による事業などにより目標に近づきたい。看板などの整備は、学習院跡地だけでなく、廃屋アパート、中

和処理施設など一体として整備していく構想を練りつつ、観光振興の戦略としてやらなければと考えている。

工事が中断した市道 今後再開する計画は

観光客入り込み目標 達成に向けた対策は

古川議員 平成27年の観光客500万人の入り込み目

標への取り組みと学習院跡地入口を含めて、周辺の案内看板などの整備にどのように取り組むか。

市長 減少しているスキ



転作確認作業は、図面と台帳を元に1筆ずつ現地で確認を行います

一般質問

ここが



政高会 田村 孝 議員

聞きたい

今回質問した項目

- ・行政改革について
- ・協働のまちづくりについて
- ・納税貯蓄組合補助金について

行政改革の進捗状況と今後

おおむね順調に進んでいる

田村議員 行政改革の進捗
状況と今後の見通しについて伺う。

市長 八幡平市においても、八幡平市行政改革大綱実施計画を策定したものである。年度途中であったが、31項目の特定項目に各担当部署で取り組み、6月7日行政改革推進本部会議を開催し、18年度の取り組み実績および19年度の取り組み内容について会議を開催したところである。

間の委員から構成されている八幡平市行政改革懇談会を7回開催し、同年12月に八幡平市行政改革大綱を策定して、内閣組織の八幡平市行政改革推進本部の会議を5回、民

平成18年2月に八幡平市行政改革大綱を策定して、内閣組織の八幡平市行政改革推進本部の会議を5回、民

市民と行政の役割分担を明確にする市民参加、市民と行政の協働によるまちづくりを推進していくかなればならないと考えている。さらには市民主導へと

盛岡以北の拠点都市を目指し、市民一人ひとりが住んでよかったですと心から感じることができるまちづくりができるようまいりたい。



行政改革の一環として、日曜日などの一部を除き開館時間が2時間延長になり、午後7時まで利用できるようになった市立図書館

協働のまちづくりに本市の特色生かそう

田村議員 今やどの自治体でも協働のまちづくりに力を注いでいるが、一般的に市町村の特色を生かした発想がない。本市が内外に誇りを語るに、何についてかを伺う。

企画総務部長 19年4月からスタートしているものとしては、「西根地区学校給食センター調理部門の民間委託」「図書館の開館時間延長」「行政区再編」などがあり、おおむね順調に進めている。

納税貯蓄組合補助金使い方に制約あるか

田村議員 納税貯蓄組合補助金の使い方は組合で自由なのか、市条例があるのか。市長 紳税貯蓄組合補助金の使途については、納税貯蓄組合法および同法施行令で対象期間、対象経費が定められている。対象期間は、前年10月1日から翌年9月30日まで、対象経費は使用人の給料、事務所使用料、帳簿書類の購入費、さらには事務費としては、会議費および研修費に充てることとされている。補助金の基本割1組合2万円、組合員割1人800円と定めている。

一般質問

ここが

今回質問した項目

- ・行財政の効率化の取り組みについて
- ・助産師の活用による妊産婦支援について
- ・柏台出張所の見直しについて



緑松会 大和田 順一 議員

聞きたい

組織一体化と効率的体制の構築

合併によるメリットを追及

る。庁舎建設により、組織

や機構改革を進め、仮に職員10人削減できた場合、年

間約7000万円の削減になり、20年間で14億円の削

減となり、合併効果を出せ

ると思うが。

財政課長 単純な計算では、そのような計算は成り立つ。

柏台出張所見直しは住民に説明と理解を

力で、妊婦や新生児の訪問や各指導も含め支援したい。

手続きが必要で、サービス水準を維持し、行政経費の

節減を図ることを基本に進めたい。

情報セキュリティ対策について

報研究所 所長 諸橋昭夫氏

大和田議員 柏台出張所について、今後の地域への説明と進め方は。

大和田議員 柏台出張所の業務、内容を精査し、6月から11月にかけて、畠、柏台、金沢温泉郷地区で各3回ほど十分な説明を行い、合意形成を進めたい。

助産師の活用による妊産婦支援の充実を

大和田議員 助産師活用による妊産婦支援について、

情報技術を活用した妊婦の遠隔検診システム導入に取り組む考えはないか。

大和田議員 代替措置など

の提案についての考え方。

大和田議員 公金は金融機関窓口

で取り扱いや推進が可能で、

あり、各種証明書の発行は、郵便局における取り扱いに

関する法律が施行され、委託する代替措置を検討して

いる。事前協議、規約制定、

議会の議決、協定締結など



個人情報の漏えい防止を目的に開催された情報セキュリティ研修会（1月23日）

一般質問

ここが



八起会 小笠原 壽男 議員

聞きたい

今回質問した項目

- ・集中改革プランについて
- ・除雪費について
- ・人口高齢化対策について

投票所再編は地域の実情考慮すべき

集落の利便性に配慮し検討

小笠原議員 集中改革プランで検討するとしている、選挙投票所の見直しの内容を示せ。

市長 市内44カ所の投票所があるが、投票管理事務の合理化を図ることと、集落の状況や、選挙人の数、交



現在、本市では44カ所（西根22、松尾7、安代15）の投票所で投票が行われます（写真・平館体育館）

小笠原議員 除雪業務発注基準で待機料支払う考えは

市長 行政連絡員から依頼を受けて住民のために活動をするものであり、全国町会総合賠償保険制度での賠償保険の対象となる。

小笠原議員 市内の各行政区では、行政連絡員以外で公務に携わる班長の公務災害補償適用はないと聞くが、万が一の事故被害などに備え適用するよう改正すべきと考えるがいかが。

小笠原議員 地域づくりのバロメーターと考える。行財政の効率化だけでなく、地域の実情を考慮して検討するべき。

市長 投票所は地域バランスを配慮し設置することが肝要であり、地域性を精査して再編を進める。

通の利便性などを十分に配慮の上で再編を検討する。

小笠原議員 18年度の除雪費は、委託事業費が前年度比較で約4割削減されたが、一方で受託業者は死活問題だったと聞いています。労働者の就業機会の提供拡大を

市長 除雪業務で重機の稼働がない場合は、待機料の支払いは難しいが、今後県や近隣市町村の在り方について調査検討を加え、業者も安心して業務に取り組めるよう、経費の持ち方を検討する。

図ることなどから、19年度の積算基準を見直し、待機料などの前払いを検討する考えはないか。

一般質問

ここが



今回質問した項目

- ・観光振興について

聞きたい

来訪者に分かりやすい住所表示

北口議員

市内には、国道、

県道、

市道と、

車社会の生

活には欠かせない道路が多

いが、

県内外、

外国人観

客、

市内来訪者に親切で分

りやすい住所表示案内板を

主要道路に設置して、さす

がに観光都市八幡平市であ

ることをP Rするべきと思

うが伺う。

市長 住所表示については、

財源の関係から、大変難し

い状況と認識している。

国、県道に係る住所表示

に関しては、関係機関と協

議を重ねてまいりたい。市

道への住所表示に関しては、

地域にふさわしい表示を模

索している状況である。

また、観光案内板の設置

については、県へ補助金制

度の要望を出しているので、

今後、市観光協会など、関

係機関と連携を取りながら

進める。

松川に遊歩道整備し
滞在型の観光振興を

北口議員

松川自然休養林

キャンプ場から松川地熱発

電所までの間には、青沼、

影沼、五葉沼、石沼、御護

沼、松川玄武岩、工房夢蒸

染、松川温泉、松川地熱発

電所と、名勝、施設が数多

くある。

特に、春の新緑

から秋の紅葉シーズンには、

景観に見張る絶景のところ

があり、観光客も増加して

いる。トレッキング利用の

遊歩道を整備し、滞在型觀

光振興を図るべきと思うが。

市長 近年の観光客のニ

ーズをとらえた場合に、滞在

型を主体とするものでもあ

り、遊歩道の必要性は十分

に認識している。市として

会の構成メンバーの方々に

地区代表者も入っている

で、それぞれの地区として

地域資源の活用を期待する

ものであり、市としても積

併せて歩道整備や駐車帯の設置について県へ要望する。

北口議員 総合観光振興における行政と民間がそれぞれの役割を担い、お互いに補完し合いながら観光振興を推進するため、観光協会との連携を図ることを希望する。

市長 八幡平市観光振興計

画をことし3月に策定した

際に、参画いただいた委員

会の構成メンバーの方々に

地区代表者も入っている

で、それぞれの地区として

地域資源の活用を期待する

ものであり、市としても積

地域にふさわしい表示を模索



「柏台」(写真)をはじめ、一部の道路標識に取り付けられている住所表示

一般質問

ここが



八起会 高橋 守 議員

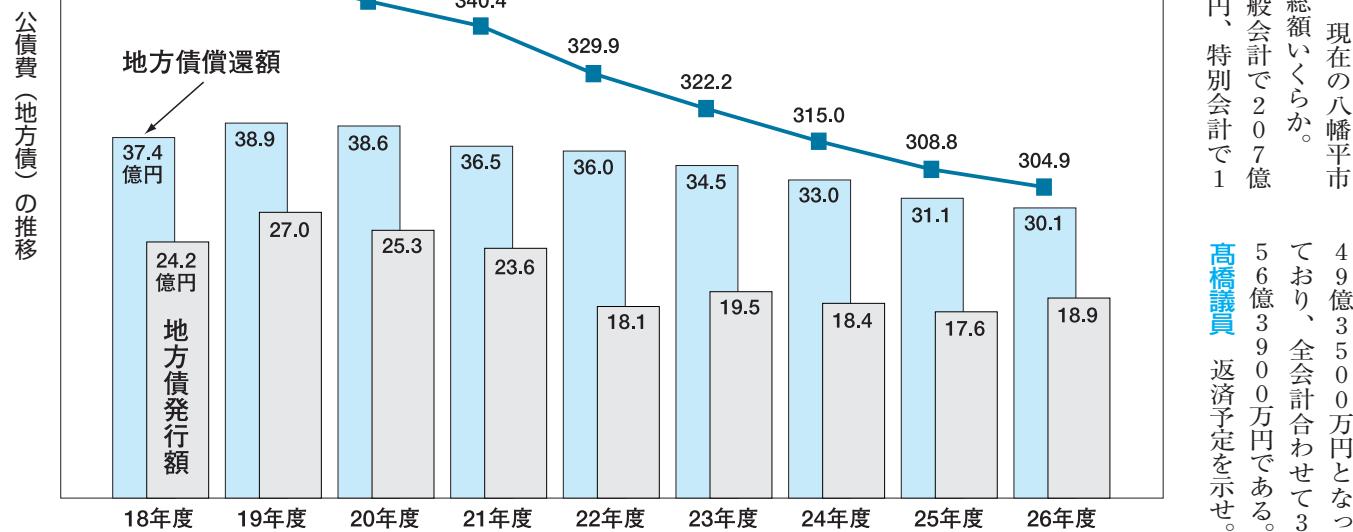
聞きたい

今回質問した項目

- ・市の借金について
- ・簡易舗装について
- ・スクールバスの利用について

八幡平市の借金

合計で356億3,900万円



高橋議員 現在の八幡平市
の借金は総額いくらか。
市長 一般会計で207億
400万円、特別会計で1
56億3900万円である。

高橋議員 返済予定を示せ。
市長 交付税に算入される
償還金の算入額は19億54
00万円で、算入割合は
52%となっている。

高橋議員 本年度以降、起
債を起こす予定を示せ。
市長 平成26年度までに合
わせて168億3900万
円の発行と見込んでいる。
この間の返済額は278億
6700万円、うち元金は
219億8900万円であ
る。8年後の地方債残高は
304億8900万円で、
18年度に比較し約51億56
00万円減る見込みである。
高橋議員 本市で理想とさ
れる起債の上限はいくらか。
市長 平成17年度において
は17.9%であった実質公
債費比率を、最終的には
15%以下にすることを目標
として取り組んでいきたい。

高橋議員 昨年度の簡易舗
装の実施状況を示せ。
市長 18年度では、全会計
の地方債償還額は37億39
00万円である。
高橋議員 その中で交付税
に算入予定額はいくらか。
市長 交付税に算入される
償還金の算入額は19億54
00万円で、算入割合は
52%となっている。
高橋議員 本年度以降、起
債を起こす予定を示せ。
市長 平成26年度までに合
わせて168億3900万
円の発行と見込んでいる。
この間の返済額は278億
6700万円、うち元金は
219億8900万円であ
る。8年後の地方債残高は
304億8900万円で、
18年度に比較し約51億56
00万円減る見込みである。
高橋議員 本市で理想とさ
れる起債の上限はいくらか。
市長 平成17年度において
は17.9%であった実質公
債費比率を、最終的には
15%以下にすることを目標
として取り組んでいきたい。

高橋議員 切削材舗装を実施
した路線については9路線
で、実施延長は3.46キロ
である。アスファルトを使
用した軽舗装については1
路線で、実施延長は248
メートルである。

高橋議員 本年度の実施予
定は。
市長 費用対効果の高い市
道や生活道路を主体に整備
し、15路線程度を本年度実
施したいと考えている。

高橋議員 スクールバスの
保有台数は何台か。
教育長 松尾に4台、安代
に6台あり、西根には学習
バスつばさ号が1台ある。

高橋議員 修学旅行時にス
クールバスの利用ができる
くなるのか。
教育次長 あるものは有効
に利用したいという教育長
の基本的な考え方を生かし、
今後も続けていきたい。団
体割引がきかない小規模学
校は、親御さんの負担の格
差があるので、その点を考
慮し、市のバスを使っての
支援は必要だと考えている。

一般質問

聞きたい

今回質問した項目

・新庁舎建設問題について



日本共産党 米田 定男 議員

今ほど住民の暮らしを守ることを最優先にした政治が求められている時はない。また、市財政の問題では、財政危機を克服し、本気で財政改革を進めようとする

政治の最大の役割は住民の暮らしを守ることにある。しかし、今住民の暮らしの実態は深刻な状況にある。雇用問題、産業の不振、後継者問題、年金への不安など、生活の困難さと将来への不安が満ちていると言つても過言ではない。

米田議員 今住民の立場から見れば、新庁舎建設をトップさせることが政治における最大の課題であるとの認識からの質問である。

なら、無駄な大型公共事業を排除することが避けられない課題である。

民の意思を尊重することに
ある。住民の怒りの声を深
く受け止めるべきである。

市長 なぜ新庁舎が必要な
のか、根本は合併協定であ
る。それを尊重するのがわ
たしの立場である。

その他の理由として一つは、現庁舎が狭く業務執行に支障を来していることがある。

二つは、「府舎建設は合併協定で決まったこと」として強行することの非民主

的な政治の在
ついてである。

確かに合併協定で決まっているのは事実であるが、それを住民が認知している訳ではない。それは例えば、

旧松尾村では住民アンケートによつて合併反対が明確に示されたことでも明らかである。

民主的な政治の基本は住

情報提供し市民・議会の判断を

新市の名称は、八幡平市（はちまんたいし）とする。

5 新市事務所の位置

(1) 地域住民の利便性の観点から、西根町、松尾村及び安代町のそれに総合支所を置く。

(2) 新市の事務所の位置は、当分の間、岩手郡西根町大更第35地割（西根町役場）とする。

(3) 将来の新市の事務所の位置については、通称「平館・野駄田園」付近合併後5年を基本とする。併せて、新市において庁舎建設基金を創設。

財産及び債務の取扱い

合併前の各町村が所有する財産（公有財産、物品、債権及び基金）及び債務負担行為額は、すべて新市に引き継ぐ。

議員の定数及び任期の取扱い

議会議員の定数は、26人とする。

付の合併の特例に関する

一般質問

ここが



日本共産党 高橋 悅郎 議員

聞きたい

今回質問した項目

・合併による格差是正について

保育料軽減や検診料無料の維持

財政運営の状況などを把握



高橋議員 保育料、検診料が旧安代町の基準に統一されれた。保育料で約4000万円、検診で10000万円、合わせて50000万円を市

が新たに負担している。このサービスは八幡平市として県下に誇れる素晴らしい内容であり、今後ともぜひ維持していくべきと考える。

問題は、そのための財源であるが、今は合併による国の支援がある。特別交付税への上乗せであるが、これは3年間のみだ。この国の支援が終わつた後も現行のサービスを維持することが求められるが、当局の考えを伺う。

副市長 現在実施している

検診の無料化、保育料の58%軽減は福祉対策の中でも大変重要な事業と認識している。これらの事業は合併してから3年間、格差是正ということで6億円強が特別交付税に算入され、それを財源として実施してきた。

今後大きく交付税が減る時期が来るので、これらの事業を今後ともずっと続けられるかどうか財政運営の状況、財政確保の状況を把握した上で、事業継続ができるかどうかを議論したい。

老人クラブなどへの補助金減額はなぜか

高橋議員 市の政策的支出

である一般会計からの各種補助金が、合併前の平成16年と合併後の平成19年を比較すると7979万円減っ

ている。例えば、老人クラブへの補助金が340万円から234万円へと69%に、自治会、町内会への補助金が906万円から705万円へと78%に減額になっていると判断せざるを得ない。

今、集中改革プランが盛んに行われているが、予算編成時にこれらの補助金がやり玉になつてゐるのではないか。年間に2億円の庁舎建設積立をしているが、その犠牲になつてゐるのではないか。

市長 補助金については、実態としてそんなに減額になつていないと認識している。老人クラブを引き合いにした質問だが、わたしもものは認識している。老人クラブはもつと体制強化をしてもらい、補助金も差し上げたいと考へている。庁舎建設は一過性のもので、未来永劫に負担が続くものでない。行革プランを確実にやることで福祉政策が継続的にできるものだと認識している。

一般質問

ここが

今回質問した項目

- ・市民の現実課題対策について
- ・独特な学力向上対策について



政高会 田中 榮司夫 議員

聞きたい

市民所得の向上・生活向上が優先

やる気と工夫次第

田中議員 市の将来像を実現する多くの施策体系の具体化を可とするも、今市民の現実問題は生活の向上にある。よって地場産業の抜本的振興策による農家などの所得倍増が必須と考えられるが、どうか。

市長 弱小農家の救済策はどうなのか、という趣旨の質問だと理解しているが、小規模農家でも所得を得る方法はやる気と工夫次第でたくさんあると思っている。

市長 現今の経済状況、生産状況から企業誘致というものは非常に厳しいものと認識されるが、何とか企業が命に努力して製品を開発しながら十分な所得を得ていることも間近に見ていている。

市長 現今の経済状況、生産状況から企業誘致というものは非常に厳しいものと認識されるが、何とか企業が命に努力して製品を開発しながら十分な所得を得ていることも間近に見ていている。

田中議員 市の発展、繁栄は子育て（人口増）にあることは周知だが、対策は十分でないのでは。

市長 市は安心して子どもを生み育てる環境づくりを目指して、基本理念に八幡平市次世代育成支援行動計画を策定し、対策の推進に当たっている。保育所料金も基準額に対しても県内市町

ぜひ考えていただき、技術開発をしながら技術を磨いて消費者に喜んで買ってもらえる信頼品を生産することによって、少ない面積でもある程度の所得を上げ、暮らしが向上できるのではないか。今後そういう点の指導を重要視していきたい。

田中議員 企業誘致や雇用対策に専門者をもつて徹底してはどうか。

支援、誘致企業の育成フォローアップなども行って、企業誘致や雇用の場の確保に全力を注いでいる。市における昨年度は、西根地区にエナーテック株式会社、

本年度は松尾地区八幡平トラウトガーデン区域に株式会社エコワを誘致でき、雇用の増大を期待している。

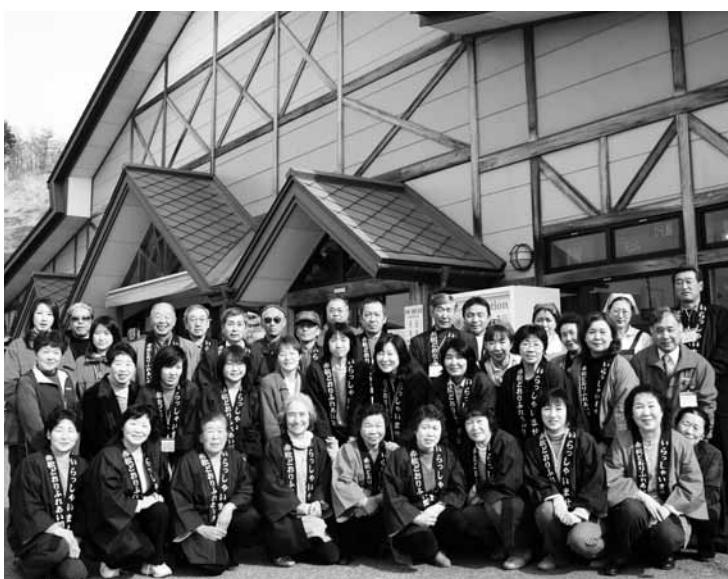
村でも4番目の58%軽減しており、第3子以降無料化により保護者の経済負担減を図っている。また市の単独事業として、第3子以降を出産した場合、出産祝金

を1人5万円支給しており、子育て親子が気軽に集い、交流を図る集いの広場も常設し、子育て支援対策をフルに実施しているところである。

やる気をだして、どういうものをどう生産すれば高く売れるか、そういうことを

やる気をだして、どういう方法で直売所を開かせていただいている。どうか

赤松どおりふれあい館産直組合の皆さん（写真：月刊「農業普及」平成19年4月号。撮影：坂本廣美カメラマン）



請願・発議案

全4件を採択・可決

6月定例会では、請願3件、議員による発議案1件が提出され、審議の結果、いずれも採択・可決しました。審議した請願・発議案は次のとおりです。

▼市道大更駅東線から市道赤森松子線を結ぶ生活道路の改良整備を求める請願

(請願者・両沼自治公民館長千葉孝志氏ほか140人)〔写真①〕

この請願は、近年アパートや住宅が立ち並び、交通量が増加した当該道路における交通事故防止と、地域

住民の生活環境向上を目的に提出されたものです。

この請願は、過疎地域の私立高校に対する私学助成金の充実を目的に提出されたものです。(全会一致で採択)

この請願は、近年アパートや住宅が立ち並び、交通量が増加した当該道路における交通事故防止と、地域

▼法定外公共物(道路)大更37地割地内根別踏切付近より八幡平市総合運動公園北側周辺道路の道路環境整備を求める請願(請願者・正村行政区行政連絡員工藤正雄氏ほか308人)〔写真②〕

この請願は、過疎地域の私立高校に対する私学助成金の充実を目的に提出されたものです。(全会一致で採択)併せて発議案が可決され、衆・参両議院議長と内閣総理大臣ほか関係大臣、および岩手県知事に意見書を提出)

真②

写真①(市道大更駅東線から市道赤森松子線を結ぶ生活道路の現場)

写真②(根別橋踏切付近より八幡平市総合運動公園北側周辺道路の現場)

議会の動き(5月~7月)

○5月

- ▶16日 会派代表者会議
- ▶30日~31日 平成19年度岩手県市議会議長会定期総会(議長、副議長)

○6月

- ▶1日、4日~5日 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会平成19年度第1回要望会(議長)
- ▶7日 会派代表者会議
- ▶11日 議会運営委員会
- ▶14日~20日 八幡平市議会第2回定例会
- ▶14日 議会広報特別委員会
- ▶15日 教育民生常任委員会
- ▶15日 産業建設常任委員会
- ▶15日 市議会政務調査会総務部会
- ▶18日 全国温泉所在都市議会議長協議会第36回総会(副議長)
- ▶19日 全国市議会議長会第83回定期総会(副議長)
- ▶20日 全国過疎地域自立促進連盟理事会・総会(副議長)
- ▶27日 川又正三郎氏死去(87歳・矢神)=昭和43年から安代町議会議員を1期
- ▶29日 議会広報特別委員会

○7月

- ▶2日 平成19年度零石東八幡平奥地産業開発道路推進協議会総会(議長ほか)
- ▶3日 全国自治体病院経営都市議会協議会第65回理事会・第35回定期総会(議長)
- ▶4日 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会平成19年度定期総会(議長)
- ▶4日 市議会政務調査会教育民生部会
- ▶5日 市議会政務調査会総務部会
- ▶9日 平成19年度岩手県知事等に対する実行運動(議長)
- ▶10日 議会広報特別委員会
- ▶11日 市議会政務調査会産業建設部会
- ▶13日 県選出国会議員、国の省庁に対する実行運動(議長)

事務局日記

田山小の3年生を代表して、川又みさとさんから手紙をいただきました。先日の議場見学(2ページの写真参照)に対するお礼の手紙で、一番高い席(議長席)に座った感想などが丁寧に書かれていて、とてもうれしかったです。7月12日には、松野小の3年生も見学に来ました。「僕たちは、お気軽にどうぞ。(勇孝)